



イクコママの乳がん日記 ③

## 調べると恐怖ばかり…

入浴中、右胸にしこりを発見し、専門病院で「マンモグラフィ」「超音波検査」「針生検(はりせいけん)」の検査を受けたイクコさん(42)。結果は「悪性」。乳がんについてあまり知りませんでした、調べ

てみると、怖いことばかりが目につきました。大切な子どもたち、ゴー君(1歳5カ月)とリコちゃん(4つ)の将来を考えると、不安と恐怖でいっぱいでした。  
(第4週に掲載)

① あわててネットや本で「乳がん」を調べる…が書いてあるのは怖い事ばかり。

② 「死ぬ」というより「死ねない」の恐怖。

⑤ 「不安に押しつぶされる」苦しいけど、どうしていいかわかりませんでした。

③ 不安で息苦しいけど、毎日いつも通りすぎさないといけない。

でも、恐怖布に面対せぬが、毎日リコの前で大泣きしていました。

④ 何が原因で乳がんになったのか考える余裕もなく、先も見えない状態。ただそこにいるだけ。

「死ねない」の「死ぬがもしねない」という不安の中にいるだけ。

### 先が見えない不安と恐怖

2013年1月

「悪性」と告知された後、家でネットとかで「乳がん」を調べまわると…怖いことしか書いてないよー! 子どもたちのことを考えると、「死ぬ」というより「死ねない」の恐怖におしつぶされそうだった。息苦しい。

この恐怖に耐えきれず、リコの前で「ママ、おっばいの病気になっちゃった」といつも大泣き。急に10年生存率85~90%って言われたって!! ゴー11歳、リコ14歳。いつも子ども

たちの思春期にはどう対応しようかなーとか考えていたのに、その時私は一緒にいられないの? もし私が死んでダンナが再婚したら奥さんは2人を大切に育ててくれる? 私が死んだらゴーは私のこと覚えていてくれる?

詳しい結果が分かるまでの2週間、地獄だったよー。「不安に押しつぶされる」という言葉がぴったりなんだけど、ほんとにほんとに苦しくてつらかった。先が見えない不安。どんよりとした何かに上から押しつぶされそう、そしてどうしていいかわからない感覚。

### 普通に接し話を聞いて

乳がんはしこりの大きさ、脇の下のリンパ節や他臓器への転移の有無で0~4の5段階のステージ(病期)に分類されます。生存率は初診時のステージで決めるのが一般的。がん細胞が乳管にとどまっているステージ0の非浸潤性乳がんの死亡率は0%。2割未満のリンパ節転移のないステージ1も95%以上は命に別状はありません。告知を受けた際、主治医はもちろん友人、家族、院内カウンセリング、患者会など相談できる窓口が多いことが重要。特別に気を使うと負担になるので、周りの人は普通に接して話を聞くことが大切です。

監修・玉城研太朗医師  
(那覇西クリニック 乳腺外科)